

かいぎろく 会 議 録

かいぎめいしょう 会議名称	だい きさいわいくくみんかいぎ だい かいせんもんぶかい ひと こうつうあんぜんぶかい 第6期幸区区民会議 第4回専門部会（人にやさしい交通安全部会）
にち じ 日時	へいせい ねん がつ にち もく 平成29年2月2日（木） 18：30～19：50
かい じょう 会場	さいわいくやくしよ かいだい かいぎしつ 幸区役所 4階第4会議室
しゅつせきしゃ 出席者	くみんかいぎいいん おんじゅん ●区民会議委員（50音順） あおきはるひこいいん あべのりひろいいん いいじまだおいいん おのはるこいいん かねだ いいん 青木晴彦委員、阿部法弘委員、飯島忠男委員、小野晴子委員、金田さとみ委員、 さかぐちいさおいいん しづたに た み え いいん たかはし み さ こ いいん はしもとふみおいいん みうらただかずいいん 坂口 功 委員、渋谷多美枝委員、高橋美三子委員、橋本文夫委員、三浦忠一委員 じむきょく ●事務局 さいわいくやくしよたむらふくくちよう 幸区役所田村副区長 さいわいくやくしよ すいしんぶき かく か きしかちよう よしおかちよう ほ さ うしわかしゅにん うじえしよくいん 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、牛若主任、氏家職員、 さいわいくやくしよ き かんりたんとう みやだてたんとうかちよう 幸区役所危機管理担当 宮舘担当課長 かぶ しゃかいくうかんけんきゅうじょ なかじま し やなぎさわ し （株）社会空間研究所 中島氏、柳澤氏
けっせきしゃ 欠席者	けおばさーと らつあみちやんいいん ケオハ サート ラツァミチヤン委員
ぼうちょうしゃ 傍聴者	なし
はいふしりよう 配布資料	ぎ じ しだい ●議事次第 しりよう ●資料1 ひと こうつうあんぜんぶかい ちょうさしんぎす け じ ゆ ー る 「人にやさしい交通安全部会」調査審議スケジュールについて しりよう ●資料2 さいわいく ない こうつう じ こ はっせいじようきよう 幸区内における交通事故発生状況について しりよう ●資料2-別紙 だい だい どうじしや ほこうしや じ こ はっせいかしよ 第1、第2当事者が歩行者となる事故の発生個所 しりよう ●資料3 ひ あ り ん ぐ ちょうさ じっしほうこく さいわいけいさつしよ ヒアリング調査の実施報告＜ 幸 警察署＞ しりよう ●資料4 こんご ちょうさほうほうとう ぶん 今後の調査方法等について（案） しりよう ●資料4-別紙1 さいわいく ちず い め ー じ 幸区の地図イメージ しりよう ●資料4-別紙2 あん けー と ちょうさ しつもん かいとうひよう あん アンケート調査 質問・回答票（案） しりよう ●資料4-別紙3 こうつう る ー ま な ー く い ズ あん 交通ルール・マナークイズ（案） しりよう ●資料5 へいせい ねんど こそだ ふ え あ くみんかいぎ 平成28年度「みんなで子育てフェアさいわい」における区民会議 のブース出展概要（案） さんこうしりよう ●参考資料 だい きさいわいくくみんかいぎ す け じ ゆ ー る 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて
ぎ だい 議 題	（1） ちょうさしんぎす け じ ゆ ー る 調査審議スケジュールについて （2） さいわいく こうつう じ こ はっせいじようきようおよ こうつうあんぜん とりくみ 幸区の交通事故発生状況及び交通安全の取組について （3） こんご ちょうさほうほうとう 今後の調査方法等について （4） こそだ ふ え あ くみんかいぎ ぶん じゅつてん 「みんなで子育てフェアさいわい」における区民会議のブース出展について
けつていじこう 決定事項	（1） ちょうさしんぎす け じ ゆ ー る 調査審議スケジュールについて ・ しりよう こんご す け じ ゆ ー る かくにん きようゆう 資料1により、今後のスケジュールを確認・共有した。 （2） さいわいく こうつう じ こ はっせいじようきようおよ こうつうあんぜん とりくみ 幸区の交通事故発生状況及び交通安全の取組について ・ しりよう さいわいく ない こうつう じ こ はっせいじようきよう かくにん きようゆう 資料2により、幸区内における交通事故発生状況について確認・共有した。 しりよう ・ おの ふく ぶかいちよう ちゅうしん さいわいけいさつしよ ひ あ り ん ぐ ちょうさ さんか 資料3により、小野副部長を中心に、幸警察署へのヒアリング調査に参加

	しいん ひ あ り ん ぐ ちようさ けつ か ほうこく した委員から、ヒアリング調査の結果を報告した。 (3) 今後の調査方法等について ・資料4により、今後の調査方法等について確認・共有した。 ・各委員が、所属団体に調査することが可能であることを確認した。 ・別紙2は、記載内容を精査する。 ・別紙3は、すぐに活用するものではなく、記載内容を精査し、今後活用していくこととする。 (4) 「みんなで子育てフェアさいわい」における区民会議のブース出展について ・資料5により、「みんなで子育てフェアさいわい」における区民会議のブース出展概要について確認・共有した。 ・「みんなで子育てフェアさいわい」に区民会議として出展することを決定した。 ・参加可能な委員の役割分担について、事務局が調整する。
かいぎ ないよう 会議の内容 および おも はつげん 主な発言	(1) 調査審議スケジュールについて ●事務局より資料1について説明した。 ○資料1により今後のスケジュールを確認・共有した。 (2) 幸区の交通事故発生状況及び交通安全の取組について ●事務局より資料2について説明した。 ○資料2により、幸区内における交通事故発生状況について確認・共有した。 ●資料3により、小野副部会長を中心に、幸警察署へのヒアリング調査に参加した委員から、ヒアリング調査の結果を報告した。 【委員からの報告等】 ・交通安全に関わる警察官の人数が、意外と少なく驚いた。限られた人数の中で、警察官が交通安全を寸劇でPRするなど、交通安全の意識を高めるために様々な工夫をしているという話を聞いた。そうした取組を行っているということをもっと皆に広めたいと思った。 ・今後の課題として、ボランティアの減少とあるが、声をかければ協力してくれる人はたくさんいるのではないかと。 ・ボランティアの確保に向けては、声掛けなどが今後必要だと思った。協力していきたいと感じた。 ・交通安全活動に関わっている身としては、ボランティアが減少しているという実感はあまりなかった。声掛けという話が出たが、どのように声掛けをしていくのが良いのか、いまはまだイメージが湧かない。交通安全の取組が広がるよう、区民会議として協力できると良いと感じた。 ・町内会にも交通部会があって、交通安全に関わる取組を行っている。人口は増えたが、町内会に加入する人は増えていないと感じる。交通安全に

関わらず、担い手の確保は課題だと感じる。

- ・平成27年の幸区の人身事故453件の内、153件、33.8%が自転車事故であった。この割合が一番高いのは川崎区で35%。川崎市は自転車事故が多いと改めて感じた。

- ・年齢別事故件数について、30～50歳代が平成27、28年ともに多い。免許取得者や自動車保有者との関係性については、統計の出し方にもよるので、一概には言えないということだった。

- ・年齢層別法令違反件数では、前方不注意などの追突事故と、交差点での事故が多いということなのではないかと思った。

(3) 今後の調査方法等について

- 事務局より資料4について説明した。

- 資料4により、今後の調査方法等について確認・共有した。

- 各委員が、所属団体に調査することが可能であることを確認した。

- 別紙2は、記載内容を精査する。

- 別紙3は、すぐに活用するものではなく、記載内容を精査し、今後活用していくこととする。

【主な意見】

<今後の調査方法について>

- ・子育て世代、障害者、外国人、高齢者など、様々な立場の人から意見を聞くにはどのようにすれば良いのか検討する必要がある。アンケート調査を実施する場合、回収率を上げる方法もポイントとなる。

- ・今回、人にやさしい交通安全部会では、「子どもたちを守る」ということに重きを置いている。基本的には、子どもに関わる大人も対象なので、老人クラブの場合だと、高齢者と子どもがぶつかってけがをしたとか、そういう様な部分を抽出して、改善方法を検討していけると良いのではないかな。はじめから調査対象を広げるより、まずはできるところから行っていけば良いと思う。例えば、PTA協議会は働く世代の親から成る組織なので、そこにアンケート調査を実施すると良いのではないかな。「他にもこういう方法もあるよ」といった話ができれば良い。

- ・PTA協議会にアンケート調査を実施するのは良いと思う。他には、公共交通機関の運転手にヒヤリハットするところを聞くことはできないかな。タクシー会社、バス会社の運転手が子どもに対して感じたことなどを聞ければ良いと思う。

- ・こども文化センターには親も来るだろうから、そこでアンケートを配ると良いのではないかな。子育て世代、子どもと親が集まる場所を中心に調査していきたい。

- ・老人クラブでは、提案すればアンケート調査ができると思う。
 - ・子ども会連合会では、月に一回定例会がある。各地区から代表が集まるので、そこでアンケート用紙を配布して、次の月に回収するという方法であればアンケート調査は可能だと思う。子ども会連合会もPTA協議会と同じく、働く世代の親から成る組織である。
 - ・運転免許更新の時にアンケート調査を実施すると良いのではないかな。
 - ・子どもが対象ならば、子ども会、PTA協議会、学校などに調査対象を絞って良いと思う。絞らないのであれば、区役所、銀行、病院、スーパーなど人が集まるところに置くことも考えられるのではないかな。
 - ・子育て世代など、ネット利用の多い世代であれば、調査方法は紙ではなく、ネットを活用すると良いのではないかな。
 - ・例えば、各PTAの会長には「ここが危ない」という情報が来ているはず。全ての人を網羅するのではなくて、あなたの学区ではどこが危ないですか、子どもたちに注意をさせていますか、という方法で確認するのが良いと思う。障害者で言うと、各学校で特別支援学級に通っている子どもたちがいる。その子どもたちの認知度や、付き添っていく人たちがどう思っているかな等を確認できれば良いと思う。外国人の小学生が増えていると感じる。出席簿を見ても、カタカナの名前の子どもが各クラスにいる。そういう子どもたちが正しく日本語を理解できて、交通ルールを理解できているのかな、という確認もできると思う。
 - ・タクシー会社やバス会社の人にアンケート調査を行うというのは面白いと思った。切り口は沢山あって良いと思う。皆さんが気づいたことを子どもたち、親たちに伝えていって、みんなで見守るという体制や方法を考えていけたら良いと思う。
- <アンケート調査の内容について>
- ・年齢の項目は、小学生、中学生で区切った方が良いのではないかな。
⇒修正する。
 - ・居住年数の項目は必要だろうか。バス会社やタクシー会社の運転手の中には、幸区に住んでいない人も多いと思う。
⇒居住年数の項目は削除し、居住場所の項目に「幸区外」を追記することとする。
 - ・最後の設問に「ヒヤリハットを感じた箇所を具体的に記入」とあるが、自由記載よりは、○と×で答える形式にした方が答えやすいのではないかな。
⇒想定できる回答はいくつか記載するが、「その他」として、自由記載のできる欄も設けるよう修正する。
 - ・このアンケート調査票を、初めて渡された人は戸惑うと思う。初めに趣旨等を記載してはどうか。

⇒修正する。

＜交通ルール・マナークイズの内容について＞

- ・子育て世代をターゲットとした設問を多く入れた方が良いのではないか。

⇒記載内容を精査し、今後活用していくこととする。

(4)「みんなで子育てフェアさいわい」における区民会議のブース出展について

●事務局より、資料5について説明した。

○資料5により、「みんなで子育てフェアさいわい」における区民会議のブース出展概要について確認・共有した。

○「みんなで子育てフェアさいわい」に区民会議として出展することを決定した。

○参加可能な委員の役割分担について、事務局が調整する。

以上